

蒲 下 第 3 3 8 号

令和06年10月03日

国土交通大臣 殿

蒲郡市長

社会資本総合整備計画の変更について

令和05年10月26日 付け 蒲 下 第 308 号 で提出した、社会資本総合整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和04年01月18日

計画の名称	蒲郡市における下水道普及の促進（重点計画）														
計画の期間	令和０４年度　～　令和０８年度　（５年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	蒲郡市														
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。														
全体事業費（百万円）		合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		6,940	A	6,940	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R3当初）	（R6末）	（R8末）
1	重点アクションプラン対象区域における下水道処理人口普及率を16.1％（R3当初）から100％（R8末）に増加させる。			
	重点アクションプランの計画整備人口に対する、対象区域内人口の割合 下水道処理人口普及率（％）＝対象区域内人口（人）÷重点アクションプランの計画整備人口（人）×100	16％	70％	100％

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	蒲郡市	直接	蒲郡市	管渠（ 污水）	新設	豊岡三谷地区污水支線（ 未普及解消）	污水管 L=4,120m	蒲郡市	■	■	■	■	■	390	1.94	-	
	A07-002	下水道	一般	蒲郡市	直接	蒲郡市	管渠（ 污水）	新設	竹谷鹿島地区污水支線（ 未普及解消）	污水管 L=24,790m	蒲郡市	■	■	■	■	■	2,330	1.94	-	
	A07-003	下水道	一般	蒲郡市	直接	蒲郡市	管渠（ 污水）	新設	形原西浦地区污水支線（ 未普及解消）	污水管 L=44,860m	蒲郡市	■	■	■	■	■	4,220	1.94	-	
											小計							6,940		
											合計							6,940		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05			
配分額 (a)	578	541			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	578	541			
前年度からの繰越額 (d)	0	299			
支払済額 (e)	279	463			
翌年度繰越額 (f)	299	377			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 蒲都市における下水道普及の促進（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 上位計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 蒲都市下水道事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 3) 関連する他事業の計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 4) 各種法令（都市計画法、下水道法等）を遵守している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 長期的収支計画の見直しが健全と判断される。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 関係機関との協議、住民等の合意形成等を踏まえて事業実施の確実性が高い。	○